



みなみの風

坂下南小学校
学校だより
NO. 70
R6. 11. 27
(文責:校長 菅家 篤)

ドリーム&チャレンジ! ~あいさつ・はっぴょう・なかまとじぶん~

書くことは、考えること 話すことは、理解を確かに行うこと

本校では、スローガンに掲げている、子ども達が「はっぴょう」(自己表出)する場を大事にしています。写真は、26日に行われた5年生の算数の様子です。三角形の面積の求め方について考える授業でした。まず、自力で解決する時間を設けました。子ども達は、これまで学習した長方形や平行四辺形に帰着して面積を求める方法を自分なりに考えました。次に、グループで各自の考えを伝え合い、共通点や相違点について話し合いました。さらに学級全体で意見交流する場を設けて、解決方法の共通点や相違点について分類整理しました。この授業のように、思いついたことをただ発表するのではなく、自分の考えをノートやワークシートに書き、考えをしっかりとってから発表する指導を丁寧に行っています。書くことは考えることであり、考えを整理し、筋道立てて話すこと(アウトプット)で、確かな理解につながります。



自分の考えを
書いて



自分の考えを
話す



「教育講演会&キャリア教育」のご感想ありがとうございます ♪

とても心が温まりました。家族の絆やふるさとへの思い。そういった気持ちや、自分の気持ち(やりたいこと)を大切にすること。大人にならないと、本当に大切なことは気付けないかもしれないけれど、子供にも、渡辺さんの言いたいことが伝わったんじゃないかなあと思える講演会でした。(6年生の保護者様より)

沢山の心温まるエピソードと音楽、6年生の聴く姿勢と素直な反応に、とても癒やされました。461個のお弁当は、息子が食べてくれたから作り続ける事が出来たのだというエピソードが特に印象的でした。

“してあげている”のではないという捉え方、素敵に思いました。自分も親として“させてもらっている”喜びをもっと身近に感じ、子育てという限りある時間をもっと大切に過ごしていけたらと思います。

(佐藤 佐知 様より)

